

特定非営利活動法人都岐沙羅パートナーズセンター

2018（平成 30）年度事業報告及び決算

I 2018（平成30）年度事業報告

【特定非営利活動に係る事業】

1. 住民活動支援事業

1-1 住民活動支援窓口の開設（自主事業）

事業区分：自主事業

実施期間：平成30年7月～令和元年6月

内 容：村上地域内における住民活動に関する各種支援（相談・仲介・情報提供等）窓口の開設。

【実施概要】 道の駅・朝日みどりの里内にある「グリーン・ツーリズム推進施設」にて、活動相談、情報提供、会議室の貸し出し、各種問合せ対応などの住民活動支援を実施。

【実績】 1年間の利用件数は597件（前年比36件減）、利用者数980人（同77人減）であった。利用者数・利用件数共に前年よりも減少。

※過去との比較のため旧事業年度（4月～翌年3月）で集計・比較

【所見】 利用件数・人数減少の要因としては、

- ① Eメール・電話等による問合せ・相談の増加
- ② インターネットの普及に伴い、来訪による情報収集が減少
- ③ 地域運営組織・NPO等の力量が向上し、自立して活動を展開する団体の増加という3つではないかと推察。特に③については、近年取り組んできた事業が着実に効果を生み出し、自立した活動・団体が増加してきたことが、利用件数の減少に少なからず影響していると思われる。（下図参照）

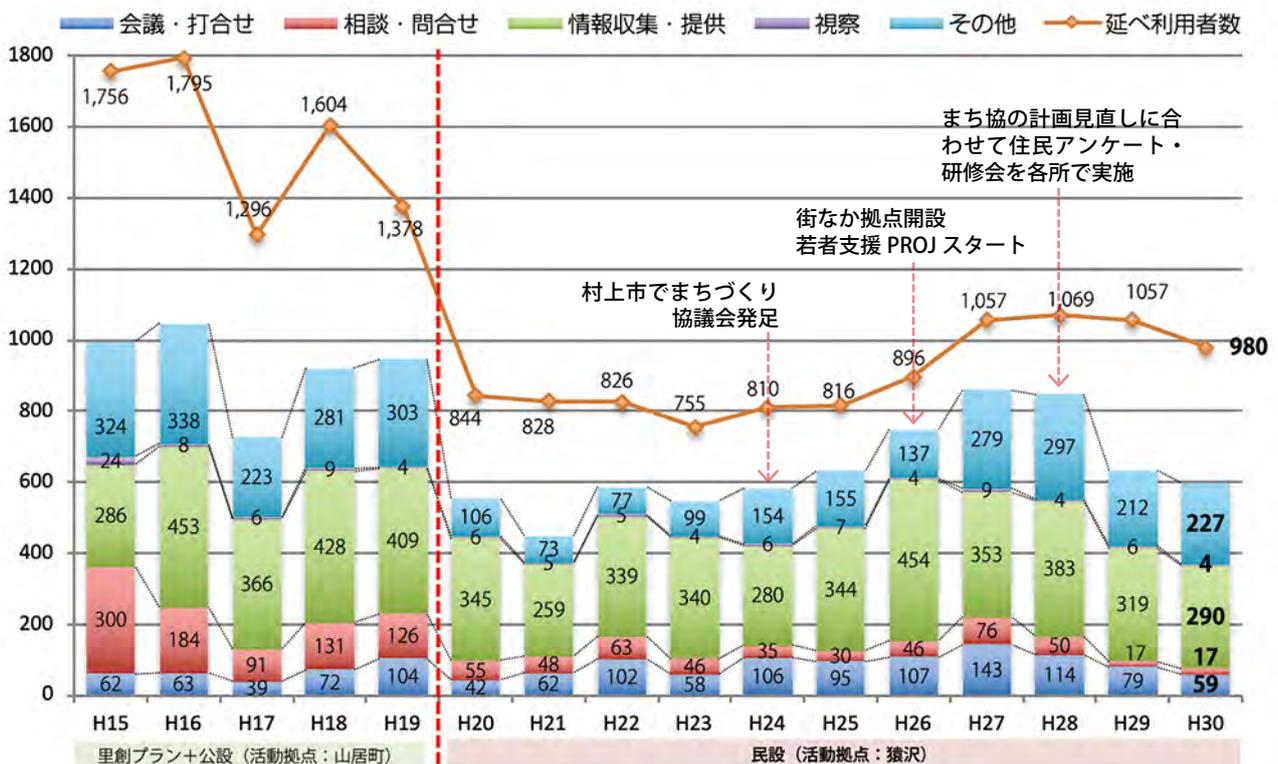


図 都岐沙羅パートナーズセンター利用件数・人数の推移

1-2 街なか拠点の運営協力（自主事業）

【事業期間】 平成30年7月～令和元年6月

【実施概要】 (株) 富樫工務所との協働により、村上市鍛冶町にあるモデルハウス「木くぼりの家」を、市民団体が気軽に利用できる活動スペースとして提供する仕組みを構築。

両者の間で「賃借料は無償」「光熱費は実費負担」「(株) 富樫工務所の業務(モデルハウスの見学)に支障が無ければいつでも使用可(原則8～21時)」「住民活動支援及び各種イベントでの利用」という内容で協定を締結。利用の受付・鍵の管理は、都岐沙羅パートナーズセンターが担当。

【実績】

	H26	H27	H28	H29	H30
利用者数（人）	817	1,874	1,875	1,887	1,723
利用団体数（団体）	6	15	11	18	26
利用回数（回）	67	130	119	130	180
利用目的（回） コミュニティスペース	19	37	36	29	27
各種教室	12	22	29	27	84
イベント開催	7	36	34	37	46
会議	4	12	16	33	12
サークルでの活用	2	7	1	3	1
視察対応	2	0	2	1	0
その他	21	16	1	0	10

【所見】 利用団体数・利用回数が前年よりも大幅に増加。気軽に利用できる民設型コミュニティスペースとして着実に浸透した。

1-3 村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託事業：村上市（生涯学習課））

【事業期間】 平成30年7月～平成31年3月

【事業概要】 村上市に在住・在勤する若者の集う場づくりをすることで、若者が語り合い、交流し、仲間づくりをする機会を創出し、若者の交流、人材育成、婚姻や定住の促進を目指すために、以下の事業を実施。

- ▷ U-45 STEP : 3回開催
- ▷ スキルアップ Cafe : 2回開催
- ▷ チャレンジプロジェクト : 4事業 / 5プログラム実施

【実績】 おしゃべり Cafe : 参加者延べ88人（純利用者数：35人）
 チャレンジプロジェクト : 参加者延べ45人

【所見】 5年目となる今年度、目的を明確にしないおしゃべり Café の回数を大幅に減らし、目的をはっきりさせた U-45 STEP やスキルアップ café を多く開催

した。目的が明確なことから、参加人数は限られるが積極的な参加者、意識の高い参加者が増えた。また、これまでグループでの参加が多かったが、今年度は1人での参加が多くなり、参加者のニーズにマッチすることで、より参加したくなる意識が高まる事が分かった。今年度のねらいどおり、地域づくり人材の育成という部分においては、十分な成果を得ることができた。



1-4 事務支援事業（自主事業）

【事業期間】 平成31年1月～令和元年6月

【事業概要】 村上地域内で活動する市民団体の事務作業の代行。（有償で受託）

【実績】 会計事務代行：1団体

【所見】 市民団体側からの要望を受けて今年度より開始。NPO・市民団体の健全な運営を支援する取り組みの一環として、求めに応じて随時対応していく予定。

2. コミュニティビジネス支援

2018年度は、特に実施せず。

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

3-1 村上地域グリーン・ツーリズム協議会事務局の運営（事業協力）

朝日みどりの里にある朝日グリーン・ツーリズム推進施設にて、官民協働で設立した「村上地域グリーン・ツーリズム協議会」の事務局を運営。各種会議の連絡調整・対外的な連絡窓口を担当。

（内容） 総会・幹事会等の運営、協議会の事務・経理作業
朝日グリーン・ツーリズム推進施設の管理

3-2 村上グリーン・ツーリズム協議会事業の実施（事業協力）

村上地域グリーン・ツーリズム協議会の2018年度事業について、全事業の企画・調整・コーディネート地域おこし協力隊（植田徹氏）と共に担当。

【実施期間】 平成 30 年 7 月～令和元年 6 月

【実施概要】 体験受け入れの研修会等の開催、首都圏から村上地域へ誘客をはかるため首都圏でのイベントを定期的で開催、インバウンドのモニターツアーを開催。

地域での体験研修 : 1 回
ツアー組立等研修会 : 4 回
首都圏 PR イベント : 6 回
地域内での誘客イベント : 1 回
ツーリズム受け入れ : 4 回 (うちインバウンド 1 回・16 名)
新潟市内での PR イベント : 11 回

【所 見】 2018 年度は新規に新潟市内での PR イベントを開催し周辺市からの誘致活動を実施。首都圏イベントも新規に 2ヶ所開催。今後も受け入れ体制を整え誘致活動を行ってツアー受け入れ数を増やしていく必要あり。2019 年度は、教育旅行の造成にも広げていけるような営業活動を展開する予定。



3-3 朝日まほろば夢農園管理事業 (委託事業：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合)

都市住民との交流促進を目的に、村上市が朝日みどりの里内に開設した貸し農園 (クラインガルテン) について、その管理運営を支援。

【実施期間】 平成 30 年 7 月～令和元年 6 月

【実施概要】 ①農園の利用者及び組合員への広報業務
→夢農園プレス (11 回発行) / ホームページの更新

②農園利用者及び組合員の交流企画

→年3回の交流イベントを企画・コーディネート

納涼祭(7月) / 料理講習会(3月) / 開園式(4月)

③栽培講習会の開催

→年1回の講習会の企画・コーディネート(4月:春栽培講習会)

④夢農園事務局業務(窓口・経理・イベント業務)

【実績】 夢農園年間利用者数: のべ442人
交流イベント参加者数: のべ75人

【所見】 スタートから9年が経過し、都市農村交流事業として完全に定着している。その一方で、空き区画対応・管理組合員の固定化など、様々な課題が求められてきている。事業の枠組みも含めたりリニューアルが今後の課題である。



3-4 関川村・散策ガイドブック作成業務 (委託事業: 関川村観光協会 / 米沢街道地域づくり検討会)

【事業期間】 平成30年7月～11月

【実施概要】 関川村を訪れる観光客の満足度を向上させるため、観光地の場所や解説を掲載した観光ガイドブック3号の作成。今回は、歴史・史跡を中心に構成することとし、原稿作成・編集デザイン・写真撮影を担当。

【実績】 前年度から継続して原稿の校正作業を進め、印刷データを作成し完成。

【所見】 ガイドブックは、関川村の観光振興における大切なツールの1つとして、各所で活用されるようになった。(1号・2号は既に増刷)

3-5 米沢街道・十三峠の案内看板等設置計画作成業務委託 (委託事業: 新潟県村上地域振興局 (企画振興部))

【事業期間】 平成30年7月～平成31年3月

【実施概要】 米沢街道(十三峠)における情報発信のための案内看板等を設置するため、関係者を集めた検討会(ワークショップ)を開催。このコーディネートを担当。検討結果を踏まえ、設置場所・看板の種類・基本デザイン等を整備計画としてとりまとめた。

【実績】 検討会(ワークショップ): 4回開催
整備計画(設置場所・看板の種類・基本デザイン等)の作成

【所 見】 地元関係者との協議が順調に進み、官民双方で納得のいく整備計画を作成することができた。2019年度以降、県・村による整備が進んでいく予定。



3-6 村上・岩船地域の歴史（城跡ガイドマップ）情報発信事業業務委託（委託事業：新潟県村上地域振興局（企画振興部））

【事業期間】 平成30年9月～平成31年1月

【実施概要】 村上・岩船地域の城跡や城主などの情報をまとめたマップを作成するにあたり、関係者を集めて作成検討会（以下「ワークショップ」という）を開催。このコーディネートを担当。

【実績】 検討会（ワークショップ）：3回開催

【所 見】 検討会のコーディネート（当日進行・意見のとりまとめ）のみの業務であったが、原稿作成（検討会メンバー）・デザイン（印刷会社が担当）も順調に進み、無事完成。

4. 地域づくり事業のコーディネート

4-1 学校と地域を結ぶオープンセッション（事業協力：村上市教育委員会）

【事業期間】 平成30年7～9月

【実施概要】 子供たちに郷土への愛着と誇りをはぐくみ、生きる力を育成していくために、学校、行政、地域の関係者が一同に集まり緊密な関係をつくり、「地域の子供達を地域のみinnで育てる教育活動の推進」の具体的な取組や活動を考える場を企画・実施。

開催日 平成30年8月1日（水）

会 場 村上市総合文化会館・全館

内 容 ①子どもあそびひろば：小学生向け体験コーナー（午前）

②講演会及び学校関係者と地域団体との意見・情報交換会（午後）

【実績】 ①子どもあそびひろば参加者：123名（小学生）

②オープンセッション参加者：129名

学校関係者36名／地域コーディネーター32名／その他学校関係者20名／
地域団体23団体（30名）／まちづくり関係者11名

- 【所 見】 むらかみ郷育の理解も進み、地域ごとに特色ある活動がなされてきた。その中で 13 回目を迎える今回のオープンセッションでは、「学校×地域で社会に開かれた学びをつくるには」と題して講演を行ってもらい、今後のコミュニティスクールに向けた方向性について考えてもらった。
- 子供の遊びの広場は 123 名の参加があり、スタッフの数を考えるとこれ以上の受け入れは難しい。実施方法等の再考が必要である。
- 情報交換会については、新しい団体も加わり、先生も転勤等で替わっていくことから、今後も継続していく必要がある。



4-2 青少年森林林業体験塾・企画運営（委託事業：新潟北部地域林業振興協議会）

- 【事業期間】 平成 30 年 7 月～平成 30 年 10 月／平成 31 年 4 月～令和元年 6 月
- 【実施概要】 林業に関心を持ってもらい、林業の就業者を増やすため、高校生・大学生を対象とした 1 泊 2 日林業体験合宿を実施。
- 開催日時 平成 30 年 8 月 7 日（火）～8 日（水）
- 内 容 森林に関する講義や間伐体験、高性能林業機械体験、製材工場見学等、普段目にする機会のない現場で林業を体感してもらえるプログラムを実施。
- 【実 績】 参加者 13 名
- 【所 見】 5 回目の開催ではあるが、新潟県内村上市外からの参加も多く、関心の高さが感じられた。女性も 5 名参加し、林業の機械化などについて現場で見て、体感してもらうことで、林業という仕事のイメージを変えることができた。参加者のうち 2 名が林業関連の職種に就職。着実に毎年成果が上がっている。



4-3 村上市いわふね林業塾（委託事業：新潟北部地域林業振興協議会）

【実施期間】 平成30年7月～平成30年11月

【事業概要】 林業の魅力を感じてもらうために川上から川下までの林業を伝えると共に、林業や木材、森林と関わるライフスタイルを提案するために体験プログラムを企画・実施。

【実績】 平成30年9月30日（日） 11家族・27名参加

【所見】 小学生の子どもを中心に、親子共に山に入って枝打ち体験や薪を使ったピザ焼、地元産杉を活用した木箱作り、木造住宅の見学などを行い、山で木が育ち、暮らしに活かされるまでを体感してもらうことができた。この地域が木材産地であることを知り、林業や木材製品に対する見方を変えるきっかけづくりの場となった。



4-4 地域人材育成業務（委託事業：村上市（自治振興課））

【事業期間】 平成30年7月～令和元年6月

【実施概要】 ①協働情報誌「むらかみ元気マガジン」の作成（年2回）
②村上市内17まちづくり協議会の平成29年度の活動状況を分析し、レポートを作成。
③まちづくり協議会を対象にした地域づくりに関する講座及び研修会等の実施。

【実績】 ①平成30年10月・平成31年3月に「むらかみ元気マガジン」を発行。
②平成29年度の各まちづくり協議会活動を整理・分析し、レポートを作成。



③各まちづくり協議会の意向を踏まえて研修会等を計 13 回実施。

(内 訳) 荒川 1 回/神林 1 回/朝日 8 回/山北 3 回

(研修テーマ) 小学生と共に考える地域づくり/学校統合後のまちづくり/

協議会役員の役割/地域包括ケア/空家対策/子どもの地域参加/

10 年後を見据えた施策/小規模多機能自治/関係人口

【所 見】 地区・協議会ごとに状況・課題が異なることから、各々に応じた内容で研修等を企画・実施した。年々、課題が多様化・複雑化していく中で、支援する側もすべてにおいてレベルアップしていくことが必要である。また、行政側の制度・仕組みのアップデートも同時に必要であるが、具体的な動きはまだない状況である。今後、こうした領域への働きかけ・サポートも積極的に行っていく必要がある。

4-5 村上市地域おこし協力隊募集業務 (委託事業：村上市 (自治振興課))

【事業期間】 平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月

【事業概要】 受入れ希望地域の発掘、受入れ体制に関する支援、協力隊の募集選考に関する支援を実施。

【実 績】 支所自治振興室と導入地域の協議 : 2 回 (朝日、山北地区)
事業説明会開催 : 1 会場 (朝日地区)
導入を希望する地区へのヒアリング : 1 回
募集チラシの製作・配布 (1 種類/1,000 部印刷/16 カ所で配布)
1 名の募集に対し 3 名の応募 → 一次選考・面接選考を経て 1 名を採用
※配置されている相談業務 48 件

【所 見】 各支所と協議した結果、山北・朝日地区からの要望が上がったものの、市の判断により、昨年からの継続して募集していたシナ布の協力隊 1 名のみでの募集となった。(山北・朝日以外の地区については、「まだ必要ない」「集落支援員で対応する」等という反応) 協力隊導入のニーズは確実にあるだけに、引き続き新規募集枠の拡大を強く働きかけていきたい。



4-6 関川村住民アンケート集計分析及び意見交換会 (委託事業：関川村)

【事業期間】 平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月

【事業概要】 関川村 2 地区で実施する中学生以上の全住民アンケート調査について、そのデータ入力・集計・分析を行うと共に、1 地区での結果報告会&意見交換会を実施する。

【実績】 2地区（川北・女川）の集計総数 1,096（霧出 429 / 女川 667）
結果報告会の開催（1回 / 女川地区 / 参加者 21名）
※川北地区は 4-7 の事業で実施

【所見】 漠然としていた住民意識がアンケート調査によって数値化され、住民自治の進化の必要性を実感する貴重な機会となった。住民アンケートの結果を受け、両地区ともに継続して住民同士の話し合いの場を設けていく予定。引き続き、丁寧にサポートしていく。



4-7 地域の話し合い促進事業（委託事業：新潟県（地域政策課））

【実施期間】 平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月

【実施概要】 新潟県が実施する「地域の話し合い促進事業」の採択を受け、小千谷市吉谷地区・関川村川北地区の 2 地区における住民同士の話し合いの場の企画運営を実施。

【実績】 <小千谷市吉谷地区>
住民アンケートの集計分析をサポートしつつ、住民同士での話し合いの場を開催。（3回 / のべ参加者数 45名）
<関川村川北地区>
4-6 で実施した住民アンケートの結果の報告 & 意見交換会という形式で開催。（3回 / のべ参加者数 60名）

【所見】 両地区とも、住民アンケートの結果共有に重きを置いたため、話し合いの場で今後の地域づくりの方向性・取り組み内容等までは議論できなかったが、関川村川北地区については、地域独自で引き続き話し合いの場を継続して設けていく予定。



4-8 地域づくり実践塾 OJT 研修（委託事業：新潟県（地域政策課））

【実施期間】 平成 30 年 7 月～平成 31 年 3 月

【実施概要】 関川村川北地区で実施した住民アンケートの集計結果を題材にして、分析眼を養うための演習（講義＋分析レポートの提出）を実施。

【実績】 集合型研修 2 回／分析レポート提出 1 回／研修生 3 名

【所見】 本事業によって、住民アンケートの集計結果の意味を言語化できる人材の育成プログラムが構築できた。今後、新たなコンテンツとして、各方面で活用していきたい。

当初、研修生には住民報告会への同席も想定していたが、地域事情により報告会開催時期が大幅にずれ込んだため、研修生の参加が叶わなかった。地域事情によってスケジュールが大きく左右されてしまうことから、こうした面への対応が今後の課題である。



4-9 新潟県地域づくりセミナー運営支援（委託事業：新潟県（地域政策課））

【実施期間】 平成 30 年 7 月～ 12 月

【実施概要】 県内の市町村及び地域づくり団体関係者が一堂に会し、先進事例に関する講演と参加者同士での意見交換を実施。セミナーの企画立案・当日進行並びに各種調整・事務を実施。

【実績】 参加者 122 名

【所見】 今回は福祉・交通分野からの参加者もあり、分野を超えた連携の意識が徐々に芽生えてきた。市町村職員同士の意見交換は非常に効果的であり、継続を望む声も多数寄せられた。



4-10 新潟県地域づくり見本市 in 村上（委託事業：新潟県（地域政策課））

【実施期間】 平成 30 年 10 月～平成 31 年 2 月

【実施概要】 地域住民が主体となって、中間支援組織等や行政と連携しながら課題解決に取り組んでいる地域の事例について、県内の関係者間で共有・意見交換を行うことで、互いに磨き合い、住民主体の地域づくり活動を促進するための交流会を県内 3 会場で開催。（当法人で村上地域での開催を担当）過去 2 回していた「地域まちづくり組織・活動発表会（通称：地域づくり自慢大会）」の開催を県との合同開催という形式で実施。

【実績】 日 時：平成 31 年 1 月 26 日（土） 13:30 ～ 17:00

会 場：村上市総合文化会館・公民館ホール

参加者：125名

内 容：8つの協議会から各々の取り組みを発表してもらい、その内容を会場参加型で深掘り。後半は参加者同士でワールドカフェ形式で意見交換を実施。

【所 見】 自慢大会形式での活動発表会は、村上地域以外の関係者にとって、かなり参考になったようだ（アンケート結果より）。この形式での学びあい・磨きあいが、各地でも行われていくことを期待したい。
また、活動発表団体の発表内容は、着実に課題解決型へと転換されつつあることを実感した。自慢大会の継続開催を求める声は多数寄せられており、今後も定期的に開催していきたい。なお、さらに踏み込んだテーマ性のある意見・情報交換の場を求める声も多く寄せられたことから、こうした場についても今後検討していく予定。



4-11 北方領土返還に関するパネル展・開催支援（委託事業：北方領土返還要求運動新潟県民会議）

【実施期間】 平成30年12月～平成31年3月

【実施概要】 村上地域での北方領土返還要求運動パネル展の開催にあたり、会場設営・パネル展開催期間中の受付対応等を実施。

4-12 地域学習支援（事業協力：村上中等教育学校）

【事業期間】 平成30年7月～平成30年10月／平成31年4月～令和元年6月



- 【内 容】 村上中等教育学校5年生（高校2年生に相当）の総合学習において、地域と連携した授業を実施したいという学校側の要望を受け、授業を企画・実施。
- 【実施概要】 各分野で地域を元気にする人たち6名に協力を依頼し、生徒自らがインタビューや取材を行いながら、「地域の人たちの仕事への想い」を伝えるイメージポスター及びPR動画を作成する授業を全5回実施。
- 【所 見】 一連の授業を通じて、生徒達の地域を見る目・見方が大きく変化した。今年度で5年目となり着実に定着。学校・地域側ともに大変好評である。6年目となる2019年度も既に動き出している。

4-13 父親支援者育成事業（補助事業：新潟県）

- 【事業期間】 平成30年8月～平成31年3月
- 【実施概要】 地域内の父親支援活動を拡大するシンポジウムと支援に携わる人を育成するための講座を開催。
- 【実 績】
- ①父親支援シンポジウム
 - 日 時：平成30年12月19日（水）13:00～16:00
 - 内 容：父親支援の必要性に関する講演
村上地域の実状を共有するためのパネルディスカッション
 - 参加者：55名
 - ②父親支援者育成講座（第1回）
 - 日 時：平成31年1月24日（木）18:30～20:30
 - 内 容：父親支援の必要性／ワークライフバランスについての講義
 - 参加者：8名
 - ③父親支援者育成講座（第2回）
 - 日 時：平成31年2月21日（木）18:30～20:30
 - 内 容：父親支援の現状／イベント運営手法についての講義／父親支援アイデア出しワークショップ
 - 参加者：4名
 - ④OJT研修
 - 日 時：平成31年3月17日（日）9:30～13:00
 - 内 容：パパスクールにスタッフとして参画し運営を学ぶ
 - 参加者：3名
- 【所 見】 子育て支援団体に限らず様々な地域団体がシンポジウムへ参加し、父親支援についての理解を深め、父親支援の輪が大きく広がった。育成講座には子育て世代だけでなく、まだ子どもいない若者や年配層の参加もあり、現代の子育てや父親支援の必要性を学んだことから、地域全体で子育てをしていく意識が生まれ、この地域での父親支援活動の底上げにつながった。



5. 商品開発・販路開拓支援

2018年度においては、特に動きなし。

6. 情報受発信事業

6-1 インターネットによる情報発信（自主事業）

●ウェブページ（<http://www.tsukisara.org>）

訪問者数 : 4,427 件 (前年比▲ 643 件)
ページビュー : 10,046 件 (// ▲ 1,623 件)
※モバイルアクセス 16.1% (// ▲ 4.2%)

●ブログ（つきさらの元気ななかまたち（<http://blog.canpan.info/tsukisara/>））

記事更新 : 25 件 (一月平均 2 件)
訪問者数 : 360 人 (前年比▲ 5,234 人)
ページビュー : 964 件 (// ▲ 44,606 件)

●SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）

<都岐沙羅パートナーズセンターのfacebookページ>

いいね！件数 905 件 (前年比+ 33 件)

<おしゃべりC a f eのfacebookページ> ※平成 26 年 12 月 3 日より運用開始

いいね！件数 326 件 (前年比+ 9 件)

<おしゃべりC a f eのTwitterアカウント> ※平成 26 年 12 月 3 日より運用開始

フォロワー数 452 件 (前年比▲ 12 件)

<おしゃべりC a f eのL I N Eアカウント> ※平成 27 年 3 月 3 日より運用開始

友達数 82 人 (前年比+ 11 人)

7. 講師派遣・視察受入

1) 視察受入 (6件)

2018年度の視察等の受入実績

	受入日	訪問者	人数	備考
1	H30/07/13	内閣府	5	ヒアリング
2	H30/07/23	福島県会津美里町	12	視察研修
3	H30/07/25-26	岩手県金ケ崎町	45	視察研修
4	H30/10/25	新潟県庁地域政策課	3	ヒアリング
5	H30/12/27	NPO 法人おっちらぼ	2	ヒアリング
6	H30/11/14	宮城県柴田町	6	視察研修

2) 講師派遣 (83件)

2018年度の団体としての講師派遣実績

	派遣日	派遣内容	派遣者
1	H30/07/04	共同通信社・地域再生大賞実行委員会・受賞団体活動発表	斎藤
2	H30/07/09	大正大学地域創生学科・講義	斎藤
3	H30/07/13	山北中学校公開授業・ゲストティーチャー	斎藤・佐藤
4	H30/07/19	新潟県地域づくり実践塾公開講座・講演	斎藤
5	H30/07/27	山形県遊佐町・地域づくり講演会	斎藤
6	H30/07/29	宮城県白石市斎川地区・住民アンケート報告会	斎藤
7	H30/07/30	猿沢地域まちづくり協議会・研修会	能登谷
8	H30/08/03	十日町市松之山自治振興会・研修	斎藤
9	H30/08/18	三重県・みえのみらいづくり塾講師	斎藤
10	H30/08/19	滋賀県近江八幡市・安土学区コミュニティセンター相談対応	斎藤
11	H30/08/25	朝日地区まちづくり協議会連絡会議・研修会	斎藤
12	H30/09/04	宮城県石巻市北上地区・研修	斎藤
13	H30/09/05	宮城県「小さな拠点・地域運営組織」研修会	斎藤
14	H30/09/06	小千谷市・3地区町内会長合同勉強会	斎藤
15	H30/09/12	大分県日田市前津江地区・地域づくり講演会	斎藤
16	H30/09/23	宮城県白石市斎川地区・若者会議	斎藤
17	H30/09/26	新潟県村上地域振興局・職員研修	斎藤
18	H30/10/10	富山県南砺市・みんなの住民自治創生セミナー・講師	斎藤
19	H30/10/11	十日町市松之山地域・住民アンケート研修①	斎藤
20	H30/10/13	岩手県地域づくりフォーラム・講演	斎藤
21	H30/10/22	内閣府・小さな拠点づくり九州ブロック研修会	斎藤
22	H30/11/05	宮城県・みやぎ地域づくり人材養成講座	斎藤
23	H30/11/06	東京大学工学部都市工学科・講義	斎藤
24	H30/11/08	福島県会津美里町旭地区・地域づくり懇談会・講演	斎藤
25	H30/11/09	青森県三八地域・地域づくりコーディネーター養成講座④	斎藤
26	H30/11/11	朝日地区薦川集落座談会	斎藤
27	H30/11/12	新潟県都市整備協会・講演	斎藤
28	H30/11/18	札幌市・まちでちょいチャレ「まちのサポーター養成所」講師	斎藤
29	H30/11/21	岩手県紫波町古館地区・研修	斎藤
30	H30/11/22	岩手県金ケ崎町北部地区・研修	斎藤
31	H30/11/23	青森県三八地域・地域づくりコーディネーター養成講座⑤	斎藤
32	H30/11/26	大分県日田市前津江地区・地域づくり講演会	斎藤
33	H30/11/28	村上商工会議所青年部・講演	斎藤
34	H30/11/29	あらかわ郷育会議・コミュニティスクール会議合同会議コーディネート	斎藤・能登谷

35	H30/12/04	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）講義	斎藤
36	H30/12/06	岩船郷育会議・CS会議合同会議コーディネート	鈴木・能登谷
37	H30/12/09	朝日地区薦川集落座談会	斎藤
38	H30/12/11	富山県南砺市上平地区・研修会	斎藤
39	H30/12/17	大分県日田市大山地区・地域づくり講演会	斎藤
40	H30/12/17	たかねまちづくり協議会研修会	能登谷
41	H30/12/21	青森県三八地域・地域づくりコーディネーター養成講座⑥	斎藤
42	H30/12/22	宮城県白石市斎川地区・中堅世代会議	斎藤
43	H31/01/08	十日町市松之山地域・住民アンケート研修②	斎藤
44	H31/01/11	たかねまちづくり協議会交流部会研修会	能登谷
45	H31/01/11	三重県名張市・地域づくり研修職員編	斎藤
46	H31/01/12	三重県名張市・地域づくり研修地域組織編	斎藤
47	H31/01/13-14	宮城県・みやぎ地域支援塾・講師	斎藤
48	H31/01/16	関川村やろでば会・研修	斎藤
49	H31/01/17	十日町市松之山地域・住民アンケート研修③	斎藤
50	H31/01/20	宮城県白石市小原地区・小原未来塾①	斎藤
51	H31/01/22	長岡定住自立圏域合同職員研修	斎藤
52	H31/01/27	宮城県白石市小原地区・小原未来塾②	斎藤
53	H31/01/29	内閣府・小さな拠点全国フォーラム	斎藤
54	H31/01/30	横浜市瀬谷区・地区支援スキルアップ研修	斎藤
55	H31/01/31	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）講義	斎藤
56	H31/02/01	青森県三八地域・地域づくり団体交流会	斎藤
57	H31/02/05	宮城県・中山間地域フォーラム・講演	斎藤
58	H31/02/10	宮城県白石市斎川地区・斎川笑アップ塾	斎藤
59	H31/02/11	宮城県白石市・仙南未来会議	斎藤
60	H31/02/17	宮城県白石市小原地区・小原未来塾③	斎藤
61	H31/02/21	宮城県川崎町しごと連絡協議会スタートアップ記念講演会	斎藤
62	H31/03/08	岩手県金ケ崎町北部地区・研修会	斎藤
63	H31/03/12	大分県日田市中津江地区・地域づくり講演会	斎藤
64	H31/03/13	宮城県石巻市北上地区・住民アンケート報告会	斎藤
65	H31/03/14	宮城県登米市・人材育成講座職員編	斎藤
66	H31/03/14	宮城県登米市・人材育成講座・南方町地域づくり楽習会	斎藤
67	H31/03/16	札幌市・まちでちよいチャレ活動報告会	斎藤
68	H31/03/19	新潟県集落支援員・研修	斎藤
69	H31/03/20	富山県・「元気とやま」ふるさと創生セミナー講師	斎藤
70	H31/03/21	小規模多機能自治推進ネットワーク会議・東海ブロック会議	斎藤
71	H31/03/21	岐阜県関市まちづくり講演会	斎藤
72	H31/03/22	山口県・地域伴走スキル向上塾	斎藤
73	H31/03/22	山口県・地域を動かす未来づくり塾	斎藤
74	H31/03/24	胎内市地域づくり自慢大会コーディネート	大滝
75	H31/03/31	宮城県大崎市岩出山地区・全住民アンケート実施報告会	斎藤
76	H31/04/06	柏崎市元気なまちづくり事業補助金成果発表会	大滝
77	R01/05/17	岩手県紫波町赤石地区・研修会	斎藤
78	R01/05/21	小千谷市・住民アンケートに関するコンサルティング	斎藤
79	R01/05/26	あらかわ未来ファンド審査員	佐藤
80	R01/06/04	自立した持続可能な地域社会創造事業五カ年報告集発刊記念集会	佐藤
81	R01/06/04-05	長崎県五島市・地域づくり研修会	斎藤
82	R01/06/06	十日町市職員研修	斎藤
83	R01/06/11-12	小規模多機能自治推進ネットワーク会議・研修会	斎藤

【その他事業】

1. 物販事業

事業区分：自主事業

実施期間：平成30年7月～令和元年6月

内 容：書籍委託販売を実施

実績：まちあるきスタイルブック	1冊
マチダス	9冊
ソシオ・マネジメント3号	14冊
ソシオ・マネジメント6号	1冊
むムm	1冊

【NPO 法人の運営／会議出席等】

1. 理事・事務局の個人活動

※以下は、個人としての対応ではあるが、都岐沙羅パートナーズセンターの理事・事務局スタッフとして活動・出席したものである。

1) 会議等への出席 (42件)

	出席日	内容	出席者
1	H30/08/02	神林商工会・経営発達支援事業推進委員会	斎藤
2	H30/08/07	総務省・地域運営組織の形成拡大に関する研究会	斎藤
3	H30/08/09	明日の新潟県をつくる運動協会・意見交換	斎藤
4	H30/08/10	新潟県・中間支援組織職員研修・企画会議	斎藤
5	H30/08/28	荒川パーキング活性化協議会	忠
6	H30/08/31	新潟県地域づくり研究会	斎藤
7	H30/09/06	あさひまつり実行委員会	忠
8	H30/09/08	柏崎市元気なまちづくり事業補助金中間報告会	大滝
9	H30/09/14	村上市災害時ネットワーク検討会議	佐藤
10	H30/09/26	神林商工会・経営発達支援事業推進委員会	斎藤
11	H30/10/02	朝日フォトコンテスト審査員	佐藤
12	H30/10/17	新潟県労働金庫・意見交換会	斎藤
13	H30/10/21	あさひまつり	忠
14	H30/10/31-11/01	総務省・地域運営組織の形成拡大に関する研究会	斎藤
15	H30/11/14	あさひまつり実行委員会正副委員長会議	忠
16	H30/11/16	神林商工会・経営発達支援事業推進委員会	斎藤
17	H30/11/21	村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会	忠
18	H30/11/27-28	シン・シエンシャ会議@大阪	斎藤
19	H30/11/30	総務省・地域運営組織の形成拡大に関する研究会	斎藤
20	H30/12/03	あさひまつり実行委員会	忠
21	H30/12/06	村上市社会福祉協議会評議員会	忠
22	H30/12/13	村上市災害時ネットワーク検討会議幹事会	佐藤
23	H30/12/13	新潟県地域づくり研究会	斎藤
24	H30/12/26	新潟県・中間支援組織職員研修	斎藤
25	H31/01/09	村上市災害時ネットワーク検討会議幹事会	佐藤
26	H31/01/18	総務省・地域運営組織の形成拡大に関する研究会	斎藤
27	H31/01/23	にいがた「なりわいの匠」認定審査会	忠
28	H31/01/23	神林商工会・経営発達支援事業推進委員会	斎藤
29	H31/02/01	いわふね青年会議所新年会	忠
30	H31/02/01	荒川中コミュニティスクール推進準備委員会	佐藤

31	H31/02/06	荒川パーキング活性化協議会	忠
32	H31/02/07	新潟県地域づくり支援者サミット	斎藤
33	H31/02/13	村上市災害時ネットワーク検討会議幹事会	佐藤
34	H31/02/13	日沿道建設促進フォーラム意見発表	能登谷
35	H31/02/19	新潟県立村上中等教育学校評議員会	斎藤
36	H31/02/28	平野歩夢後援会通常総会	忠
37	H31/03/01	総務省・地域運営組織の形成拡大に関する研究会	斎藤
38	H31/03/08	村上市林間ワサビ生産拡大検討会	忠
39	H31/03/11	荒川パーキング活性化協議会	忠
40	H31/03/25	新潟県地域づくり研究会	斎藤
41	H31/03/27	村上市社会福祉協議会評議員会	忠
42	H31/04/06	柏崎市元気なまちづくり事業補助金成果発表会	大滝
43	R01/05/24	村上市・互近所ささーる隊会議	斎藤
44	R01/05/29	あさひ互近所ささーる隊会議	斎藤
45	R01/05/30	村上市観光協会総会	忠
46	R01/06/21	村上市社会福祉協議会評議員会	忠

2) 法人運営に関する活動

①理事会（12回開催）

H30/07/19	第1回理事会出席者5名・委任状出席1名	H29年度決算見込み・H30年度予算見込み等
H30/08/22	第2回理事会出席者5名・委任状出席1名	各種事業進捗状況報告等
H30/09/20	第3回理事会出席者5名・委任状出席2名	各種事業進捗状況報告等
H30/10/19	第4回理事会出席者6名	各種事業進捗状況報告等
H30/11/19	第5回理事会出席者5名・委任状出席2名	各種事業進捗状況報告等
H30/12/14	第6回理事会出席者5名	各種事業進捗状況報告等
H31/01/23	第7回理事会出席者6名	各種事業進捗状況報告等
H31/02/26	第8回理事会出席者3名・委任状出席3名	各種事業進捗状況報告等
H31/03/26	第9回理事会出席者5名・委任状出席1名	各種事業進捗状況報告等
H31/04/24	第10回理事会出席者6名	各種事業進捗状況報告等
R01/05/22	第11回理事会出席者6名・委任状出席1名	各種事業進捗状況報告等
R01/06/24	第12回理事会出席者5名	各種事業進捗状況報告等

②三役会議：開催無し

③部 会：開催無し

II 2018 (H30) 年度決算報告

2018年度 特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター 活動計算書 (案)

平成30年7月1日～令和元年6月30日

科目・摘要	金額 (円)		増 減	備 考
	当初予算	決算額		
I 経常収益				
1. 受取会費	420,000	378,000	▲ 42,000	
正会員受取会費	120,000	99,000	▲ 21,000	
賛助会員受取会費	300,000	279,000	▲ 21,000	
2. 受取寄付金	0	0	0	
3. 受取助成金等	164,000	589,739	425,739	新潟県地域の子育て力育成事業/中退共助成金/利子補給
4. 事業収益 (特定非営利活動に係る事業)	22,500,940	23,189,511	688,571	
①住民活動支援	1,499,580	1,516,080	16,500	
②CB/SB支援事業	0	0	0	
③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	1,550,000	3,682,960	2,132,960	
④地域づくり支援事業	9,951,360	9,178,622	▲ 772,738	詳細は別表1内訳書参照
⑤商品開発支援事業	0	0	0	
⑥情報受発信事業	0	0	0	
⑦講師派遣・視察受入	3,000,000	8,811,849	5,811,849	
⑧その他	6,500,000	0		決算額は①～⑦へ算入
5. 事業収益 (その他事業)	10,000	36,460	26,460	詳細は別表1内訳書参照
6. その他収益	0	380	380	
受取利息	0	18	18	
受取配当金	0	300	300	
雑収入	0	62	62	
経常収益 計	23,094,940	24,194,090	1,099,150	
II 経常費用				
1. 事業費	20,484,714	21,268,966	784,252	
人件費	14,892,714	14,636,506	▲ 256,208	詳細は別表2及び財務諸表の注記を参照
その他経費	5,592,000	6,632,460	1,040,460	
2. 管理費	2,567,400	2,815,238	247,838	
人件費	590,400	1,046,193	455,793	
給与手当	590,400	570,400	▲ 20,000	事務局職員 (経理担当者)
法定福利費		105,278	105,278	労働保険・児童手当拠出金
福利厚生費		82,515	82,515	職員健康診断等
退職金積立		288,000		中退共積立
事業スタッフ報酬		0	0	
その他経費	1,977,000	1,769,045	▲ 207,955	
外注費	216,000	216,000	0	税理士決算業務
旅費交通費	450,000	407,510	▲ 42,490	職員業務移動交通費・事務局長交通費
理事会交通費	10,000	0	▲ 10,000	
事務用品費	2,000	3,206	1,206	
消耗品費	2,000	11,823	9,823	
印刷費	100,000	18,680	▲ 81,320	名刺/封筒
通信費	160,000	40,483	▲ 119,517	
使用料及び借料	10,000	4,500	▲ 5,500	
新聞図書費	5,000	0		
会議費	70,000	35,300	▲ 34,700	
保険料	38,000	37,036		NPO活動総合保険
接待交際費	5,000	0		
支払手数料	4,000	4,536	536	
諸会費	40,000	41,000		
租税公課	10,000	391,300	381,300	契約用収入印紙/消費税中間申告納付金
支払利息	30,000	23,889	▲ 6,111	当座貸越利息
法人税・住民税及び事業税	70,000	70,062	62	
消費税納付額	750,000	460,400	▲ 289,600	中間申告納付金との差額
雑費	5,000	3,300	▲ 1,700	
3. 予備費	42,826	0		
経常費用 計	23,094,940	24,084,204	989,264	
III 経常外収益				
1. 固定資産売却益		0		
2. 過年度損益修正益		0		
経常外収益 計		0		
IV 経常外費用				
1. 固定資産除却損		0		
2. 過年度損益修正損		0		
経常外費用 計		0		
経理区分振替額	0	4,060		その他事業会計→特定非営利活動に係る事業会計
当期正味財産増減額	0	109,886		
前期繰越正味財産額	1,931,597	1,931,597	0	
次期繰越正味財産額	1,931,597	2,041,483	109,886	

別表1 事業収益の内訳

種別	事業名	金額	備考	
助成	キャリアアップ助成金	23,889	助成：新潟労働局	
	NPO応援ローン利子補給	48,000	助成：新潟ろうきん福祉財団	
	新潟県・地域の子育て力育成事業	517,850	助成：新潟県	
	計	589,739		
特定非営利活動に係る事業	①住民活動支援	若者チャレンジ応援プロジェクト	1,512,080	委託：村上市
		事務支援業務	4,000	委託：村上ohanaネット
	②CB/SB支援事業		0	
	③地域ツーリズム開発・プロモーション事業	村上グリーン・ツーリズム協議会事業	599,600	委託：村上地域グリーン・ツーリズム協議会
		朝日まほろば夢農園管理事業	1,488,200	委託：村上市／朝日まほろば夢農園管理組合
		関川村散策ガイドブック作成業務	496,800	委託：関川村観光協会／米沢街道地域づくり検討会
		米沢街道十三峠案内看板等整備計画作成	702,000	委託：新潟県村上地域振興局
		城跡ガイドマップ検討支援	396,360	委託：新潟県村上地域振興局
	④地域づくり支援事業	学校と地域を結ぶオープンセッション	400,000	事業負担金：村上市教育委員会
		青少年森林林業体験塾・企画運営	1,250,482	委託：新潟北部地域林業振興協議会
		地域人材育成事業	2,862,000	委託：村上市
		地域おこし協力隊募集支援	2,118,000	委託：村上市
		関川住民アンケート集計分析支援	756,000	委託：関川村
		地域の話し合い促進事業／地域づくり実践塾	986,040	委託：新潟県
		地域づくりセミナー・見本市企画運営	646,920	委託：新潟県
		北方領土パネル展開催支援	159,180	委託：北方領土返還要求運動新潟県民会議
	⑤商品開発支援事業		0	
⑥情報発信事業		0		
⑦講師派遣・視察受入		8,811,849	自主事業	
	計	23,189,511		
その他	物販事業	36,460	自主：書籍販売	
	計	36,460		

別表2 事業費の内訳

科目	非営利事業	補助金・助成金事業	その他事業	備考
(1) 人件費				
職員給料手当	7,335,200	44,800		事務局職員（常勤3名）
臨時雇賃金				
法定福利費	1,050,250	6,256		社会保険料事業主負担分
福利厚生費				
事業スタッフ報酬	6,200,000	0		事業従事者への報酬
人件費 計	14,585,450	51,056	0	
(2) その他経費				
外注費	326,720	300,000		外部協力者への委託費
謝金	817,660	112,850		講師謝金
研修費	0	0		
旅費交通費	1,859,816	16,325		職員移動旅費等
事務用品費	68,990	0		文具、業務用ソフト使用料等
消耗品費	212,079	11,114		日用品等、おしゃべりCafé茶菓代
備品購入費	126,736	0		OA機器等
材料費	65,181	0		事業で使用する各種材料の購入費
印刷費	1,213,987	3,930		コピー代、チラシ等印刷
会議費	140,580	0		会場使用料等
通信費	493,593	3,999		メール便・郵送費・電話代等
使用料及び借料	204,270	21,890		会場使用料
水道光熱費	220,736	0		GT推進拠点経費等
新聞図書費	64,280	0		新聞購読費、図書費
広告宣伝費	5,400	0		チラシ新聞折り込み料
リース料	256,608	0		コピー機リース料
保険料	7,150	0		イベント保険
荷造運賃	1,723	0		
接待交際費	0	0		
諸会費	0	0		
支払手数料	6,048	648		
租税公課	628	0		
雑費	37,119	0		
その他経費 計	6,129,304	470,756	32,400	
事業費 計	20,714,754	521,812	32,400	

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は、原価基準により評価方法は総平均法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業費の区分は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業					補助金・助成金 事業	その他の事業 物販事業	事業部門計
	住民活動 支援事業	地域ソーリス ム事業	地域づくり 支援事業	商品開発 支援事業	講師派遣・ 視察受入			
(1) 人件費								
職員給料手当	806,400	1,520,200	4,784,600	0	224,000	44,800	0	7,380,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	113,282	219,104	686,583	0	31,281	6,256	0	1,056,506
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業スタッフ報酬	0	850,000	1,050,000	0	4,300,000	0	0	6,200,000
人件費計	919,682	2,589,304	6,521,183	0	4,555,281	51,056	0	14,636,506
(2) その他経費								
外注費	0	0	36,720	0	290,000	300,000	0	626,720
謝金	250,300	3,000	361,360	0	203,000	112,850	0	930,510
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	47,150	39,550	140,907	0	1,632,209	16,325	0	1,876,141
事務用品費	0	63,482	5,508	0	0	0	0	68,990
消耗品費	88,251	26,789	97,039	0	0	11,114	0	223,193
備品購入費	0	126,736	0	0	0	0	0	126,736
材料費	19,257	0	37,500	0	8,424	0	32,400	97,581
印刷費	23,430	306,163	884,394	0	0	3,930	0	1,217,917
会議費	2,330	0	114,750	0	23,500	0	0	140,580
通信費	67,429	406,700	8,499	0	10,965	3,999	0	497,592
使用料及び借料	26,700	0	133,700	0	43,870	21,890	0	226,160
水道光熱費	0	220,736	0	0	0	0	0	220,736
新聞図書費	0	61,116	0	0	3,164	0	0	64,280
広告宣伝費	0	5,400	0	0	0	0	0	5,400
リース料	0	256,608	0	0	0	0	0	256,608
保険料	2,000	0	5,150	0	0	0	0	7,150
接待交際費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	432	1,944	1,944	0	1,728	648	0	6,696
租税公課	0	628	0	0	0	0	0	628
荷造運賃	1,723	0	0	0	0	0	0	1,723
雑費	35,359	1,760	0	0	0	0	0	37,119
その他経費計	564,361	1,520,612	1,827,471	0	2,216,860	470,756	32,400	6,632,460
事業費計	1,484,043	4,109,916	8,348,654	0	6,772,141	521,812	32,400	21,268,966

3. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下のとおりです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産	0	0	0	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0
投資その他の資産	0	0	0	0	0	0
出資金	10,000	0	0	10,000	0	10,000
合計	10,000	0	0	10,000	0	10,000

4. 借入金増減内訳

借入金増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	0	0	0	0
長期借入金	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書/事業費)		
事業スタッフ報酬	6,200,000	5,900,000
活動計算書 計	6,200,000	5,900,000
(貸借対照表)		
貸借対照表 計	0	0

2018年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

令和元年6月30日時点

科 目	金 額	科 目	金 額	
I 資産の部		II 負債の部		
1 流動資産の部		I 流動負債の部		
(現金・預金)		短期借入金	0	
現金	135,474	前 受 金	0	
普通預金	3,532,232	預 り 金	210,372	
(売上債権)		未 払 金	898,076	
未 収 金	0	未払法人税	70,000	
(その他の流動資産)		未払消費税	460,400	
立替金				
仮払金	2,625	負債合計		1,638,848
流動資産合計	3,670,331			
2 固定資産合計		III 正味財産の部		
出資金	10,000	前期繰越財産	1,931,597	
固定資産合計	10,000	当期正味財産増減額	109,886	
		正味財産合計		2,041,483
資産合計	3,680,331	負債及び正味財産合計		3,680,331

2018年度 財産目録

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

令和元年6月30日時点

科 目・摘 要			金 額	
I 資産の部				
1) 流動資産の部				
現金預金	現金	135,474		
	普通預金 (村上信用金庫本店)	3,138,008		
	普通預金 (新潟労働金庫村上支店)	394,224		
			3,667,706	
	仮払金	2,625		2,625
	出資金	10,000		10,000
	流動資産の部 合計			3,680,331
2) 固定資産の部		0		0
	固定資産の部 合計			
	資産の部 合計			3,680,331
2 負債の部				
1) 流動負債の部				
預り金	源泉税/雇用保険料/社会保険料	210,372		210,372
短期借入金	新潟労働金庫村上支店	0		0
未払法人税		70,000		70,000
未払消費税		460,400		460,400
未払金	6月分給料	584,400		
	職員移動費	8,850		
	その他	146,870		
	社会保険料	157,956		
			898,076	
	流動負債の部 合計			1,638,848
2) 固定負債の部		0		0
	負債の部 合計			1,638,848
3 正味財産の部				
	正味財産			2,041,483

監査報告書

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター
理事長 忠 隆司 様

私たちは、平成30年7月1日から令和元年6月30日までの会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

会計監査について、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検査した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

令和元年7月25日

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

監事 梅田 久子



監事 大滝 隆司



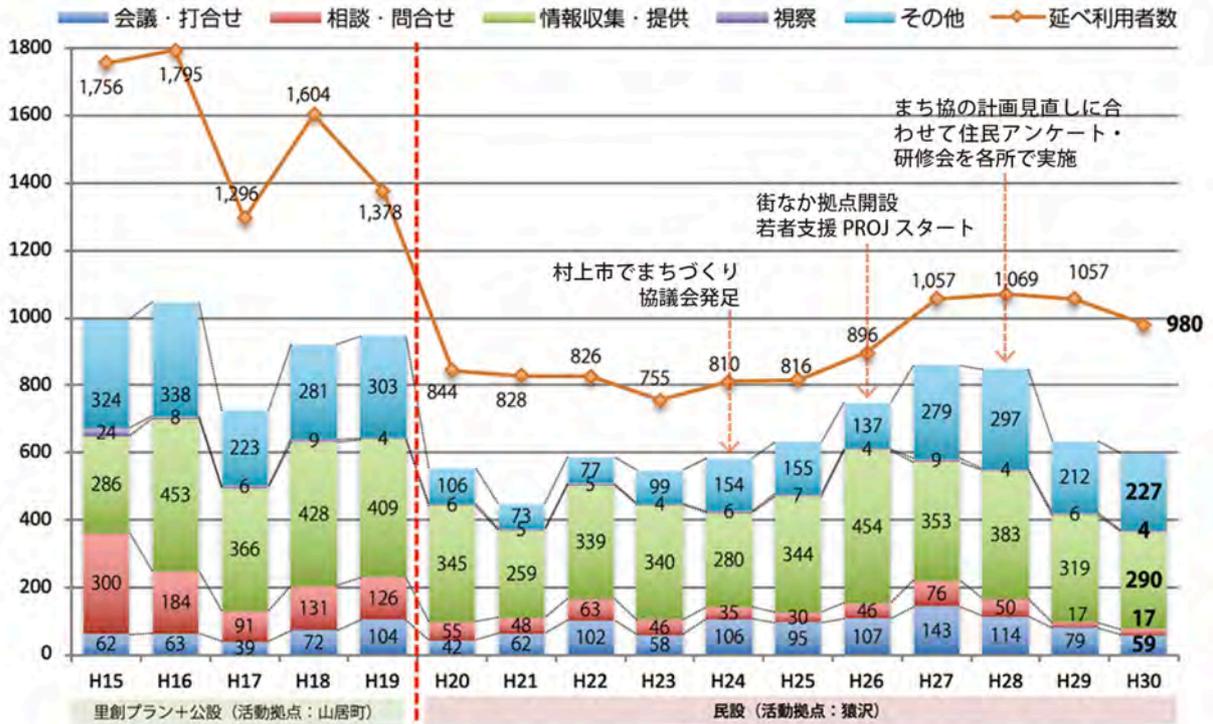


2018（平成30）年度 事業報告及び決算【概要版】

1. 住民活動支援

①住民活動支援窓口の開設（自主事業）

利用件数：597件（前年比36件減）／利用者数：980人（前年比77人減）



近年取り組んできた事業が着実に効果を生み出し、自立した活動・団体が増加してきた!?

1. 住民活動支援

②街なか拠点の運営協力（自主事業）

利用団体数・利用回数が前年よりも大幅に増加。

	H26	H27	H28	H29	H30
利用者数（人）	817	1,874	1,875	1,887	1,723
利用団体数（団体）	6	15	11	18	26
利用回数（回）	67	130	119	130	180
利用目的（回）					
コミュニティスペース	19	37	36	29	27
各種教室	12	22	29	27	84
イベント開催	7	36	34	37	46
会議	4	12	16	33	12
サークルでの活用	2	7	1	3	1
視察対応	2	0	2	1	0
その他	21	16	1	0	10



気軽に利用できる民設型コミュニティスペースとして着実に浸透

1. 住民活動支援

③村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託）

1) おしゃべりCafe等の実績



開催回数 **7** 回（前年度比58%）

延べ参加者数 **113** 人（前年度比59%）

2) チャレンジプロジェクトの実績



開催回数 **5** 回（前年度比83%）

延べ参加者数 **10** 人（前年度比56%）

学び・体験イベント3回/観光イベント1回/交流イベント1回

延べ参加者数 **44** 人（前年度比55%）

成果①

多様な企画を通して、地域の担い手となる人材育成につながった。

- おしゃべり Cafe 等参加者のうち
何らかの地域活動に関わった人：27 人

成果②

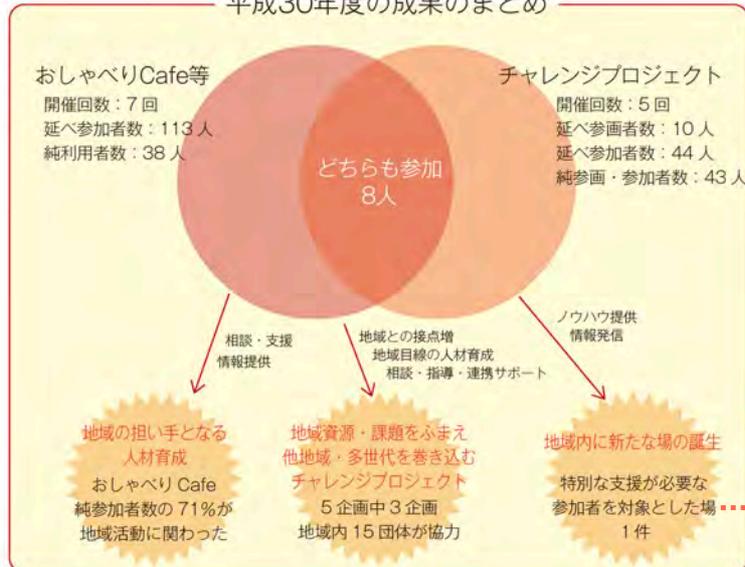
地域にある資源活用や課題解決につながり地域内だけでなく他地域・多世代を巻き込むチャレンジプロジェクトが行われた。

- 地元産業応援イベント：1回
- 観光イベント：1回
村上商人会より感謝状を授与
- 婚活イベント：1回
- 関係した地域団体・企業：15 団体
- 40 代以上・事業対象外の参加人数：20 名
（講師等含む）
- 地域外からの参加者：9 名

1. 住民活動支援

③村上市若者チャレンジ応援プロジェクト（委託）

平成30年度の成果のまとめ



5年目となる今年度は、**目的をはっきりさせたStepやスキルアップcaféを多く開催**。人数は限られるものの、積極性・意識の高い個人が参加するようになり、個々のニーズに合わせた情報・機会の紹介を行うことで、**若者の地域参加が着実に増加**。

成果③

おしゃべりCafe等の実績から地域内に新たな場が生まれた。

- 新規事業：1件
→ 村上市社会福祉協議会主催「みつば」

1. 住民活動支援

④事務支援事業（自主事業）

- 村上地域内で活動する市民団体の事務作業の代行を受託（1団体）

2. コミュニティビジネス支援

2018年度は実施せず

3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

① 2組織の事務局を受託

- 村上地域グリーン・ツーリズム協議会
- 朝日まほろば夢農園管理組合

② 地域内外でのプロモーション活動

- 首都圏でのプロモーションイベント：6回
- 新潟市でのプロモーションイベント：11回
- 村上地域内での誘客イベント：1回

③ 研修会の開催

- 体験受け入れ研修：1回
- ツアー組み立て等研修：4回



3. 地域ツーリズムの開発・プロモーション

④ ツアー受入・交流人口の創出

- ツアー受入：4回
うち1回はインバウンドツアー（参加者16名）
- 朝日まほろば夢農園
のべ利用者数：442人（前年比+122人増）
のべ交流イベント参加者数：75人（前年比▲20人）

⑤ ガイドブック作成支援

- 関川村散策ガイドブックvol3の原稿作成・編集
- 城跡ガイドマップの検討支援

⑥ 計画づくり支援

- 米沢街道・十三峠の案内看板等設置計画作成

【地域ツーリズム関連のH30年度実績】

事業を通じて生み出した交流人口
1,952人

<経年推移>

(H29) (H28) (H27) (H26) (H25) (H24)
1,752人←1,479人←1,458人←1,245人←1,300人←1,453人

※地域内外でのプロモーション活動 **H30** H29 H28 H27 H26
18回←6回←7回←7回←2回

※研修会の企画・参加 **5回**←4回←3回←4回←5回

※H30のべ企画事業者数：49個人・団体



4. 地域づくり事業のコーディネート

① 多様な主体が参加した交流機会の創出

- 学校と地域を結ぶオープンセッション（通算13回目）

【H30年度実績】	H30	H29	H28	H27	H26
開催回数	1回	← 1回	← 2回	← 3回	← 2回
参加者数	129人	← 130人	← 421人	← 285人	← 183人



② 農林業振興支援

- 青少年森林林業体験塾・企画運営

参加者数：13人（うち2人が林業関連職種に就職）

※H29：17人（うち1人 // ）

H28：15人（うち4人 // ）

H27：12人（うち4人 // ）

H26：14人（うち4人 // ）

- 村上市いわふね林業塾・企画運営

参加者数：27人（H29：53人 ← H28：25人）



4. 地域づくり事業のコーディネート

③ まちづくり協議会・地域組織支援

- 地域づくり組織・活動発表会（自慢大会）の開催

※H30年度は新潟県地域づくり見本市 in 村上として新潟県と協働開催

開催回数：1回／参加者数：125人

- 研修会・話し合いの場等への講師派遣

【地域内】のべ派遣回数：17回／のべ参加者数：391人

【地域外】のべ派遣回数：3回／のべ参加者数：45人

（主なテーマ）小学生と共に考える地域づくり／学校統合後のまちづくり／協議会役員の役割／地域包括ケア／空家対策／子どもの地域参加／10年後を見据えた施策／小規模多機能自治／関係人口 など

- 研修会の企画運営

※新潟県地域づくりセミナー／地域づくり実践塾として新潟県と協働開催

開催回数：3回／参加者数：131人

- 住民アンケート実施サポート

関川村2地区／1,096通の集計・分析作業を担当

- 活動分析レポート作成（村上市17組織）



4. 地域づくり事業のコーディネーター

④ 地域おこし協力隊の募集支援

- 村上市での地域おこし協力隊募集に関する支援
事業説明会 : 1回 (朝日地区)
募集チラシ作成・配布 : 1種類 / 16カ所で配布

【H30年度実績】

最終募集数 : 1名



一次選考通過者3名 / 最終面接者3名

最終採用決定 : 1名



⑤ 父親支援者育成

- 父親支援に関するシンポジウムの開催
開催回数 : 1回 / 参加者数 : 55人
- 父親支援者育成講座
開催回数 : 3回 / 参加者数 : のべ15人



4. 地域づくり事業のコーディネーター

⑥ 情報発信事業

- むらかみ元気マガジンの制作 (2回)
- 北方領土返還に関するパネル展・開催支援 (1回)

⑦ 学校の総合学習支援

- 村上中等教育学校5年生への地域学習授業 (5回)
- 山北中学校総合学習・ゲストティーチャー (1回)



5. 商品開発・販路開拓支援

2018年度は実施せず

6. 情報受発信

- WEBページ ※括弧内は前年比
訪問者数 4,427 (643↓)
ページビュー 10,046 (1,623↓)
モバイルアクセス 16.1% (4.2%↓)

- ブログ
訪問者数 360 (5,234↓)
ページビュー 964 (44,604↑)
- SNS
Facebook : 905 いいね! (33↑)

7. 講師派遣・視察受入・会議出席

- 視察受入：6件
のべ68人
- 講師派遣：83件
地域内：12件
県内：14件
県外：57件
- 会議等への出席：42件



8. 物販

- 地域づくりに関連する書籍の委託販売
- | | |
|--------------|-----|
| まちあるきスタイルブック | 1冊 |
| マチダス | 9冊 |
| ソシオ・マネジメント3号 | 14冊 |
| ソシオ・マネジメント6号 | 1冊 |
| むムm | 1冊 |



2018（平成30）年度の総括

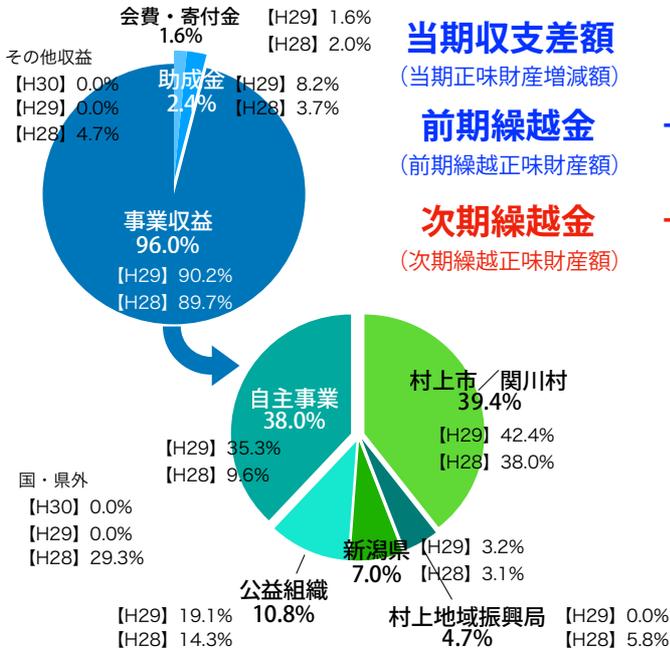
- 5年間継続してきた若者支援は、H30年度をもって一区切りとなった。次世代の担い手育成として、新たな手法を確立させ、地域内にも一定の波及効果をもたらし、十分な成果を上げたと言える。こうした人材育成は、継続して実施していくことが肝要であることから、今後、新たな取り組みを模索していく必要がある。
- 地域外での継続的なプロモーション活動が着実に実を結びつつあり、地域外での動きやインバウンドなどが年々活発化しつつある。ただし、具体的な誘客に十分に結びついている訳ではないことから、継続しての取り組みが必要である。
- 課題解決型の取り組みが、地域内に着実に増え始めている。父親支援・障害者アートといった新たな領域での取り組みも始まった。日々、増加・多様化する地域課題に対し、適切なアクションが起こせるよう、当団体自身もさらなる進化が必要である。

2018（平成30）年度決算

収入

経常収益：24,194,090円

前年比：734,219円↗



当期収支差額

(当期正味財産増減額)

前期繰越金

(前期繰越正味財産額)

次期繰越金

(次期繰越正味財産額)

支出

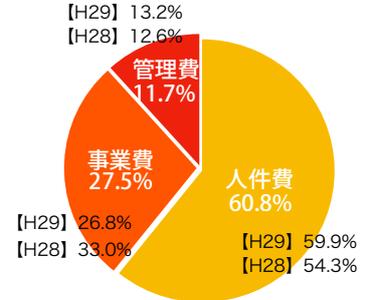
経常費用：24,084,204円

前年比：1,120,831円↗

+109,886円

+1,931,597円

+2,041,483円



2018（平成30）年度決算

収入の推移（直近4カ年）

	H27	H28	H29	H30
会費・寄付金	428千円 (2.5%)	425千円 (2.0%)	381千円 (1.6%)	378千円 (1.6%)
助成金	557千円 (3.2%)	795千円 (3.7%)	1,926千円 (8.2%)	590千円 (2.4%)
事業収益	16,190千円 (94.3%)	19,249千円 (89.7%)	21,153千円 (90.2%)	23,226千円 (96.0%)
その他	7千円 (0.0%)	1,000千円 (4.6%)	0千円 (0.0%)	0千円 (0.0%)
計	17,182千円	21,469千円	23,460千円	24,194千円

支出の推移（直近4カ年）

	H27	H28	H29	H30
人件費	9,318千円 (57.0%)	11,392千円 (54.4%)	13,762千円 (59.9%)	14,637千円 (60.8%)
(内常勤職員分)	7,169千円 (43.9%)	6,556千円 (31.3%)	8,412千円 (36.6%)	8,437千円 (35.0%)
(内事業スタッフ報酬)	2,149千円 (13.1%)	4,836千円 (23.1%)	5,350千円 (23.3%)	6,200千円 (25.8%)
事業費	4,814千円 (29.4%)	6,926千円 (33.0%)	6,162千円 (26.8%)	6,632千円 (27.5%)
管理費	2,224千円 (13.6%)	2,648千円 (12.6%)	3,039千円 (13.2%)	2,815千円 (11.7%)
計	16,356千円	20,966千円	22,963千円	24,084千円